

私は、2010年の4月、障害児の母として娘の〇〇と一緒につぼみ園に通い始めました。どの施設でもそうだったのですが、保護者の中で一番若かった私は、気を使うことも多く、つぼみ園に通うことも気を重く感じていました。

でも、通っていくうちに同じような障害を持つママたちといろいろな話をする機会が増え、気付けばそのことが私にとって、とても支えになっていました。

4年近く通ったつぼみ園。〇〇と私はひよこ組で1年、くま組で3年間過ごしました。

周囲が毎年進級・クラス替えをする中、3年間同じくま組で過ごす〇〇を見て「また、くま組か」「やっぱり、くま組か」と思ってしまう部分がありました。そして、身体的な成長もどんどん抜かれていく、その状況に日々ショックを受けていました。

でも、同じくま組でも、〇〇はいろいろな成長を見せてくれ、私も自然とその成長と一緒に喜ぶことができるようになりました。

そして、今では「くま組で本当によかった」と思えるようになっていきます。

そんな〇〇と過ごしてきたつぼみ園最後の1年間。

一番の思い出はやっぱり『わくわく保育』です。

初めて、夜まで先生と一緒に過ごす〇〇。私自身も当日は、すごくドキドキしていました。

夜になり、私たちが迎えに行くと、〇〇だけでなく子どもたちみんなが少し疲れた様子でした。

でも、その時に見せてくれた『私たち頑張ったよ』という表情・・・それは今でも忘れられません。

いつものピンクのノートではなく、1日の様子をとても詳しく書いてくれていた大きなプリントは家に帰ってから何度も何度も読み直しました。

本当に嬉しかったです。

毎日の親子通園は決して楽なものではなかったけれど、他のママたちと年齢関係なく仲良くなることができました。そして、他のクラスのママたちより、いろいろな園生活の思い出があることは胸を張って言うことができます。

最初は辛いことばかり考えて、泣くばかりの毎日でした。

でも、いろいろな人と出会う機会を作ってくれ、たくさん一緒に笑って、楽しい時間を私にくれる〇〇に「産まれてきてくれてありがとう」と伝えたいです。

この卒園の日を一緒に迎えた保護者の皆様も改めてそう感じているのではないのでしょうか。

つぼみ園での生活、とっても楽しかったです。親子共々お世話になりました。

毎日顔を合わせてきた先生方と4月から会えなくなることに〇〇だけでなく私もとても寂しい気持ちでいっぱいです。

進学しても日々の成長を大切に感じながら、楽しく過ごしていきたいと思っています。

つぼみ園の先生方、たくさん成長を一緒に見守っていただき本当にありがとうございました。